

令和3年度「土木学会選奨土木遺産」に『円上寺隧道』が認定されました。

長岡市寺泊円上寺にある「円上寺隧道（えんじょうじずいどう）」が、令和3年度の「土木学会選奨土木遺産」に認定されました。

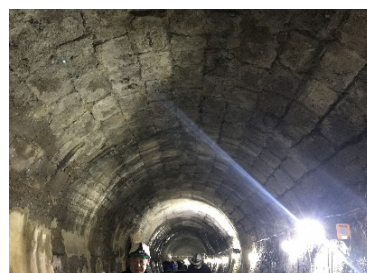
円上寺隧道は、旧内務省が信濃川の大河津分水路建設により分断された旧島崎川の附帯工事として1913年に着工し、1915年に完成させた東西合併悪水路の一部として建設した河川トンネルです。本施設は、坑口・覆工の全てがコンクリート造の山岳工法トンネルであり、日本最古級のコンクリート造水路トンネルとされています。現在、東西合併悪水路は二級河川新島崎川として新潟県が管理しており、その一部である円上寺隧道は建設から100年以上経過していますが、幾多の災害からの復旧、懸命な維持補修及び最新工法による長寿命化が進められ、今も現役で活躍し続ける貴重な土木構造物です。



（円上寺隧道の周辺状況）



（吐口（下流側）隧道ポータル）



（現在の「円上寺隧道」の覆工状況）

このことから、11月22日の「土木の日」記念講演会において認定書の授与式を行う予定です。

当新潟会では、現存する重要な土木構造物を選奨土木遺産に選定推薦をしており、直近では令和2年度に柏崎市にある「栃ヶ原地すべり第1号集水井」が選定されたほか、県内で新潟会推薦の土木学会選奨土木遺産に選定されている施設は、「萬代橋」、「長生橋」、「中山隧道」、「大間港」など14施設となりました。

なお、令和3年度を選奨土木遺産につきましては、「円上寺隧道」を含め、全国で25箇所の施設が認定されました。



<http://jsce-niigata.com/>
（新潟会ホームページ）

毎日の暮らしを支える大切な「にいがた土木構造物の機能構造物めぐり」として、土木学会関東支部新潟会ホームページで紹介しております。

[問合せ先]

公益社団法人 土木学会関東支部新潟会（担当：三澤）

電話 025-285-8886

新潟市中央区新光町6番地1（興和ビル7階）